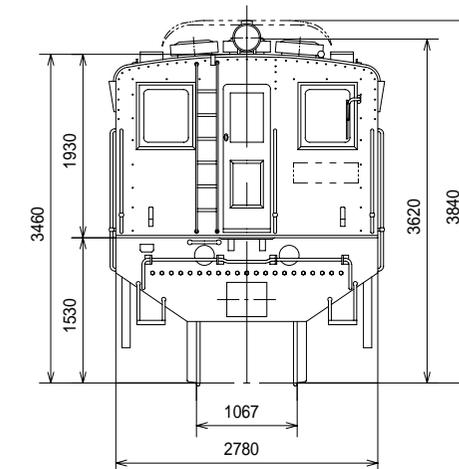
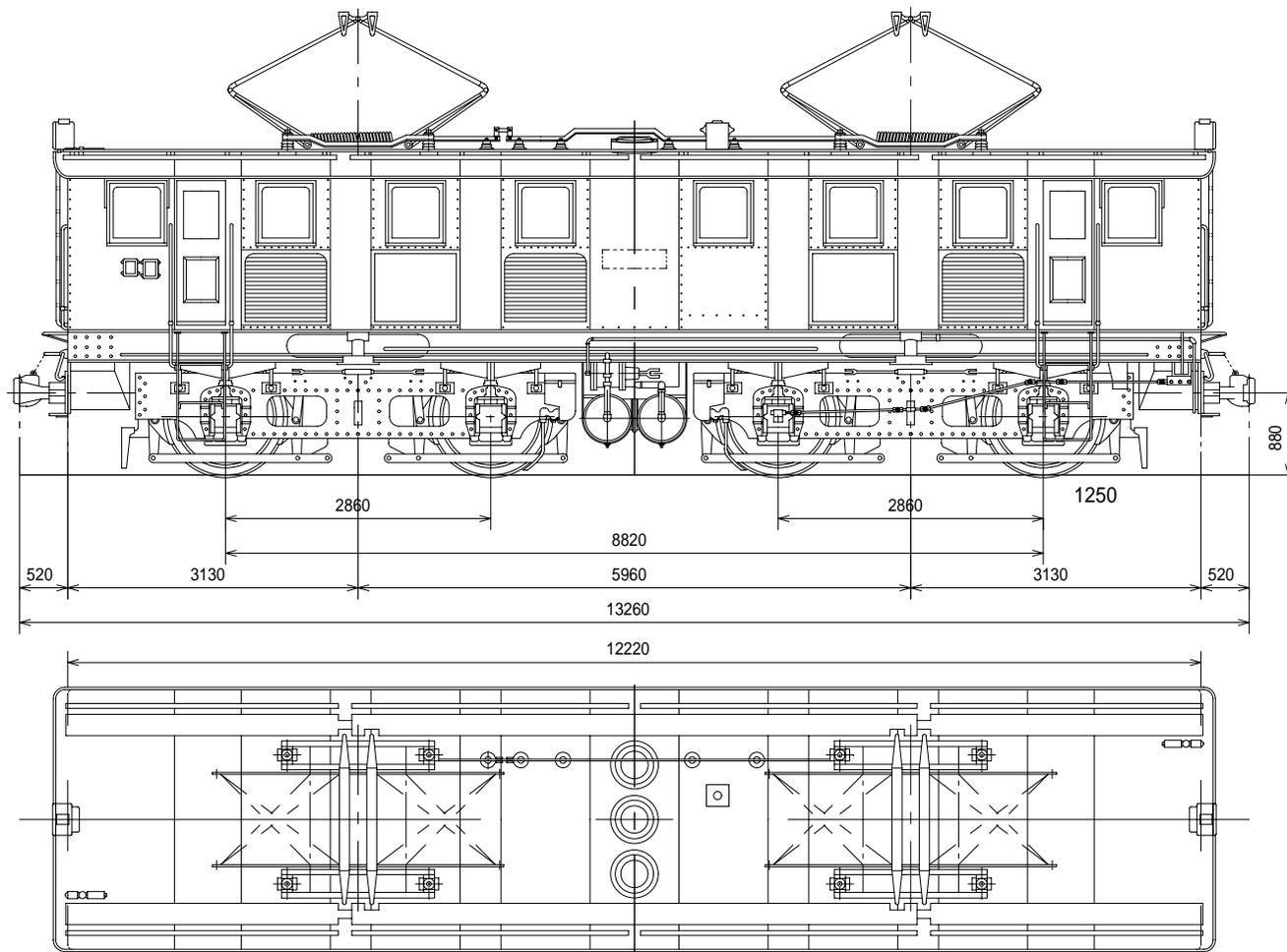


国鉄 ED15形電気機関車 形式図



1926年に日立製作所が製造した機関車。国産電機の草分けの一つとして、輸入機に伍して活躍した。車体がかなり長く、窓がたくさん並び、パンタグラフが少し中央よりに位置して、プレートフレームと共に全体にかなり古めかしいスタイルをしている。この形態は昭和初期に同じメーカーが一部の私鉄に供給した電機に及び、日立タイプなどと呼ばれた。3輛製造され、当初の形式は1070形、晩年は中央線で貨物用として働いたが、改造により外観にも若干の変化をきたした。図は末期のED153の姿である。